本書の構成

本書は「第１部　がんの分子標的用語」「第２部　各臓器がんの分子標的治療」「分子標的治療薬／阻害剤ライブラリー」から構成されています．

がん治療の標的となる分子および分子標的治療薬について，分子の生理作用やがん化とのかかわりなどの基礎的な知見から，効果や適応など臨床での最新の情報まで網羅しています．なぜターゲットとして注目されているかを調べることはもちろん，治療薬・阻害剤名からその標的となる分子を引いたり，各臓器がん治療の最前線で使用されている治療薬を参照したりするなど，がん研究と分子標的治療の全貌を多方面から理解できます．

第１部　がんの分子標的用語

第１部ではがん治療の分子標的に関する用語（主に標的となる分子）についてカテゴリーごとに整理し，解説しています．

● 概論

各章のカテゴリーにおける，がん研究の進展状況，用語同士や治療薬との関係，シグナル伝達経路などを，概略図を交え解説しています．

● 用語

研究の歴史や機能，がんとの関連性などを，用語ごとに見開き１ページとコンパクトにまとめました．

- 本分子の研究の経緯
- 分子構造
- 機能・役割
- がんとの関連性・臨床的意義

各章の用語一覧

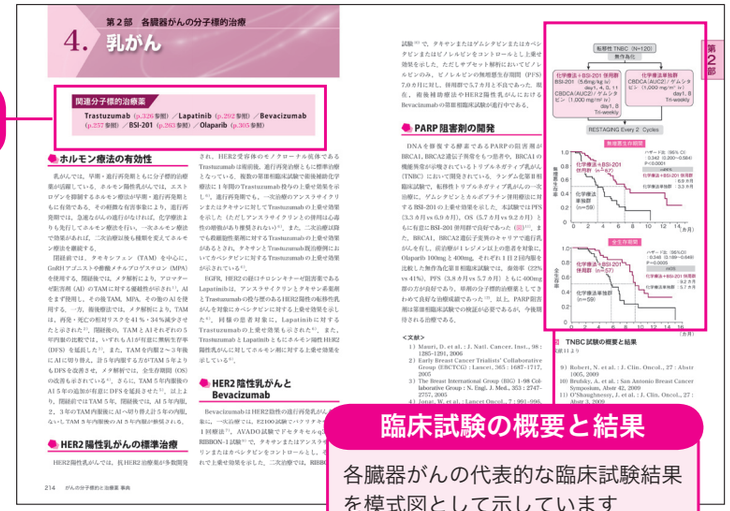
概略図

関連する分子標的治療薬

分子標的治療薬／阻害剤ライブラリーにて取り上げている薬剤名は太字で示しています

第２部　各臓器がんの分子標的治療

第２部では臓器がんごとに，適応・検討されている分子標的治療の最前線について解説しています．



関連する分子標的治療薬

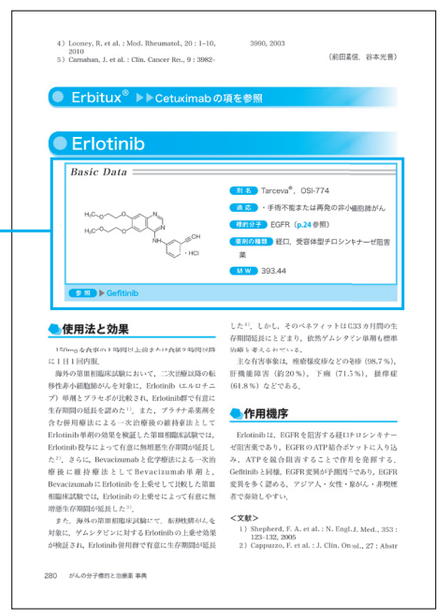
参照しあうことで分子標的治療の全貌が掴めます

臨床試験の概要と結果

各臓器がんの代表的な臨床試験結果を模式図として示しています

分子標的治療薬／阻害剤ライブラリー

国内承認薬から臨床試験中の分子標的治療薬まで，アルファベット順に並べ，それぞれの薬剤ごとに使用法や作用機序などをまとめています．別名も併せて記載していますので，商品名・開発コードからもお引きいただけます．

Basic Data

- 構造式
- 別名（商品名，開発コード）
- 適応状況
  未承認薬の場合，国内外の臨床試験の最新状況を収録しています
- 標的
  第１部にて取り上げている標的は参照ページを明記しています
- 薬剤の種類
- 分子量（MW）
- 参照
  標的が同一，または薬剤の種類が類似している薬剤例を示しています